



## 夏本番！

今年の梅雨時期は長く、じめじめとした陽気が続いています。夏はもうすぐそこ！梅雨明けが待ち遠しいですね。子どもたちは、汗をかきながらも元気に動きまわって遊んでいます。一日三食しっかりと食べて、十分な休息をとり、暑さに負けない体力づくりを心掛けましょう。



## 8月 行事予定

8/ 5(水)  
12(水)  
19(水)  
26(水) } 体操の日

8/ 7(金)避難訓練  
8/13(木)～14(金)お盆期間希望保育  
8/21(金)身体測定・お誕生日会  
8/28(金)プール遊び最終日

# Happy Birthday

8月生まれのおともだち

りつくん ゆいちゃん  
そうまくん ミゲルくん  
いちくん ふみかちゃん  
ゆのかちゃん

## お願いとお知らせ

## プール遊びについて

- 子どもたちの大好きなプール遊び期間は、**午前9:00までに登園**ください
- 引き続き、爪切りや耳掃除などプール遊びに備えましょう  
(週に一度は爪のチェックをしてあげてください)
- プール遊びは、**8月28日(金)で終了**となります

## 体操の日

どうしても室内での活動が多くなる時期。戸外で思いきり体を動かすことができない日にはお遊戯室で体育遊びをしています。7月から様々な運動や体操に取り組んできました。体を動かすことが大好きな子どもたちにとって、体育遊びは楽しい時間となっているようです。

また、運動機能が著しいスピードで発達する幼児期に体育遊びを取り入れることは、子どもたちの健やかな体と心の成長をサポートします。園では、今後も体育遊びを積極的に行っていきたいと思っています。

そこで8月から**毎週水曜日を体操の日**としますので、**体操服で登園**くださいますようお願い致します。もちろん水曜日以外に、体操服を着て登園していただいても結構です！

## 先生のクラス異動

うさぎ組に新しいお友達が増えます。

それに伴い、現在こあら組の森川芽衣先生が、8月からうさぎ組へクラス異動することになりました。改めまして、よろしくお願い致します。

## 寄付のお願い

- ボックスティッシュ1箱
  - ぞうきん1枚
- ご寄付をお願いします。共同品として使わせていただきますので、ご用意ができましたらお持ちください。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 夏の体調管理について

暑いと食欲がなくなりがちです。夏を元気に乗り切るために、必ず朝食をとりましょう。バナナや食パン、おにぎりなど食べやすいものを一口食べるだけでも元気ができます。

また、外に出るときは必ず帽子をかぶるよう園児には声掛けをしています。**園指定の帽子**を忘れずに持参してください。

## 夏に流行る感染症

夏のウイルス性感染症の発症時期は5月から8月。今回は、手足口病やヘルパンギーナ、プール熱などウイルスが原因である感染症を中心に、夏の感染症の症状を紹介します。感染症は子どもだけでなく大人も注意しましょう。

手足口病	ヘルパンギーナ	プール熱	とびひ
<p>◆主な原因ウイルス：コクサッキーA16、コクサッキーA10、エンテロウイルス71…原因であるウイルスは10種類以上ある</p> <p>◆症状など：手足の水疱と口内炎ができる夏風邪の一種。胃腸風邪ウイルスからくる少々の下痢の症状を伴う。初日から2日目に熱が出るが、それ以後熱は出ず、5日ほどで症状は回復する。</p>	<p>◆主な原因ウイルス：原因ウイルスは多数あるといわれているが、主にコクサッキーA群だと考えられている</p> <p>◆症状など：高熱が長く続き、のどの奥に口内炎ができる特徴がある。予防接種はないので、毎年発症する子どももいる。</p>	<p>◆主な原因ウイルス：アデノウイルス</p> <p>◆症状など：正式には「咽頭結膜熱」といい、7月から9月のプールに入る時期に流行ることから通称プール熱と呼ばれている。高熱を伴い、のどと目の両方に炎症を起こす。死亡例も報告されており、重症化する可能性が大きい病気。治った後もウイルスが咽頭や便からうつるケースが多い。</p>	<p>◆とびひには、水疱性膿痂疹(すいほうせいのうかしん)「水疱」ができるものと痂皮性膿痂疹(かひせいのうかしん)「かさぶた」ができるものの2種類があります。</p> <p>とびひの多くは水疱性膿痂疹で黄色ブドウ球菌が原因となります。夏に発生することが多く、主に0～6歳の乳幼児に発症します。</p> <p>◆症状など：皮膚の一部に膿をもった水ぶくれ膿疱(のうほう)ができます。かゆみを伴いますが、発熱はあまりありません。</p>

## 家庭でできる「感染症予防対策」

- 外出先から帰ったときや食事前の手洗いを習慣づける
- 体全体の免疫力を高めておくことも予防のポイントです  
休養を充分にとり、栄養バランスがとれた食事をしましょう
- 特に粘膜の材料となるたんぱく質や、免疫細胞を強化するビタミンA・C・E、腸を元気にする乳酸菌や食物繊維などを意識して摂りましょう
- 日焼けをして肌が乾燥すると、免疫力の低下につながることも忘れずに

## たまむら直心保育園ホームページ … 8/3リリース予定!!

毎月の園だより・給食だより・献立表などを園のホームページ「お知らせ」に掲載する予定です。これからもペーパーレス化を図り、微力ながら温室効果ガス削減に貢献する園であり続けたいと考えております。

皆さまのご理解とご協力、サイトへのアクセスをお願い申し上げます。

今月も、最後までご覧いただきありがとうございました。

たまむら直心保育園

検索

